

2020年度

事業報告書・収支決算報告書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

一般社団法人
日本音楽作家団体協議会
(FCA)

《事業報告》

2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、FCAの事業にも大きく影響を与えた。国内の関係団体と連携して音楽創作者の権利と利益の保護を訴える活動も、同感染症により活動の継続が困難になっている文化芸術関係者に対する支援を求める活動に多くの時間を割かれ、またアジア・太平洋地域の音楽創作者と連携する活動も停滞を余儀なくされた。

一方で、来るべき時代に向けた新しい活動に取り組むため、FCAの広報の在り方を検討するとともに、設立35周年を迎えるFCAがその存在と使命を広く示す活動を2021年度の事業として計画した。

I 著作権の保護のための活動

1 私的録音録画問題に関する取り組み

私的録音録画補償金制度が機能しなくなっている現状を踏まえ、適正な対価の還元等の課題について、権利者の利益保護に資する法改正や運用が確保されるよう関連団体と連携して政府に働きかけてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、本制度に関する議論に進展はなかった。

2 国際的な取り組み

日本の音楽創作者団体の代表として、CIAM（国際音楽創作者評議会）の地域組織であるAPMA（アジア・太平洋音楽創作者連盟）の活動に参加してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大によりインドで予定されていたCIAM、APMAの総会や創作者フォーラムが中止となるなど、国際的な活動の停滞を余儀なくされた。FCA理事会において2019年マカオで開催されたAPMAの創作者セミナーで発表された「アジア各国における了終権等の調査について」を報告して、課題を共有した。

3 文化芸術の振興のための取り組み

文化芸術推進フォーラムの一員として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた文化芸術関係者に対する活動再開・継続のための支援を国に求める活動に取り組んだ。この活動は令和2年度第2次補正予算500億円の「文化芸術活動の継続支援事業」として、また同第3次補正予算250億円の「ARTS for the future!」として結実した。

4 楽譜の無断複製への取り組み

楽譜コピー問題協議会(CARS)の一員として、楽譜の無断コピーを防止し適正利用を促進する啓発活動を実施した。CARSでは、啓発活動の主軸をグッズの配布や音楽関連団体への協力の呼びかけから、HPやSNS等のネットワークメディアを活用して、利用者一人ひとりに直接アプローチする方法に移行することについて検討を進めた。

5 CCD (デジタル時代の著作権協議会)

2021年3月22日に開催した2020年度総会において、2020年度以降の活動を停止し、2021年度をもって解散することが決議された。残務は公益社団法人著作権情報センター(CRIC)に引き継がれる。

II 組織体制・財政基盤の強化のための活動

1 正会員団体との連携強化について

組織体制強化のため、会員団体主催の事業について、FCAが後援していることを表示するよう要請を行うとともに事務局が後援事業に出席した。

2 会費について

2015年度以降の会員各団体の会費については、2014年度の理事会で決定しているが、状況の変化等、適宜、検証を行う方針を立てていることから、継続的に会員団体の会員数の把握等に努めた。

3 各委員会について

(1) 楽譜複製・複写問題対策委員会

楽譜コピー問題協議会(CARS)において楽譜の無断コピー防止等の活動を継続実施した。

(2) 広報委員会

FCAの広報の在り方、ホームページの活用方法を答申するとともに、①FCAのこれまでの活動を振り返り、今後の活動の参照点を確認するためのインタビュー企画：音楽作家と作家団体の歩み、②作家活動の現況と課題、著作権に関する問題意識等を把握するための大規模アンケート（一斉調査）の実施を提案した。同事業はFCA設立35周年記念事業として2021年度に実施する。

III その他

1 理事の退任等について

長年に亘り **FCA** の活動に尽力された伊藤幹翁常任理事が **9月9日**に、宮川としを理事が **9月10日**に逝去された。

2 新型コロナウイルス感染症への対応

人との接触機会を減らすため、リモートによる会議の開催、オンラインによる業務の実施を進めた。

以 上

《収支決算》

I 収入について

1 会費収入

すべての正会員、賛助会員から予算どおりの入金があった。

2 助成金収入

アジア太平洋音楽創作者連盟 (APMA) 総会等が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になったことから、JASRAC に本事業に対する助成申請を見合わせた結果、助成金収入はなかった。

3 雑収入

定時社員総会後の懇親会を開催しなかったため、祝い金の受け取りがなかった。

II 支出について

1 会議費

委員会等にリモートで参加された委員に対し通信費を支払うこととし、**2020**年度収支予算を変更して支払いに対応した。定時社員総会後の懇親会を開催しなかったため、予算を下回る支出実績となった。

2 事業費

インドで予定されていた**CIAM**、**APMA**の総会や創作者フォーラムが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため海外渡航に伴う費用が発生しなかった。**CARS** 事業費分担金が新型コロナウイルス感染症の影響による会員事業者の収入減を考慮して、一律 **60%**に減額された。上記の理由により予算を下回る支出実績となった。

3 広報費

ホームページをリニューアルした。リニューアルを委託した事業者とあらたに保守契約を締結した。ホームページのリニューアルと保守管理に係る費用を一体で支出した。

4 交際費・交通費

新型コロナウイルス感染症の影響により関連団体が主催する懇親会等が中止されたほか各種会合がオンラインに切り替わったため、予算を下回る支出実績となった。

5 諸団体加盟費

活動を停止していた**CCD**に対する会費の支払いがなかったため、予算を下回る支出実績となった。

6 図書費

書籍を購入しなかったため、支出実績はない。

III 資料

資料1 2020年度収支予算実績対照表

資料2 2020年度支出実績内訳

資料3 収支計算書

資料4 貸借対照表・財産目録

資料 1

2020年度収支予算実績対照表

〈収入の部〉

(単位：円)

科目	予算	実績	予算比
会費収入	5,200,000	5,200,000	100.0%
助成金収入	150,000	0	—
雑収入	30,000	0	—
利息収入	80	133	166.3%
前年度繰越金	13,392,270	13,503,793	100.8%
合計	18,772,350	18,703,926	99.6%

〈支出の部〉

(単位：円)

科目	予算	実績	予算比
会議費	1,660,000	1,319,436	79.5%
事業費	1,500,000	257,160	17.1%
広報費	740,000	679,822	91.9%
交際費	664,000	201,053	30.3%
交通費	43,000	15,285	35.5%
通信費	50,000	40,320	80.6%
印刷費	50,000	44,540	89.1%
雑件費	7,000	5,365	76.6%
消耗品費	22,000	22,000	100.0%
諸団体加盟費	510,000	400,000	78.4%
図書費	5,000	0	0.0%
法人関係費	100,000	90,000	90.0%
小計	5,351,000	3,074,981	57.5%
次期繰越金	13,421,350	15,628,945	116.4%
合計	18,772,350	18,703,926	99.6%

資料 2

(単位：円)

2020年度支出実績内訳

科目	内訳	実績	
会議費	出席者車代 総会・理事会(6月開催)	10,000×21名	210,000
	理事会(9、12、3月開催)	10,000×延べ53名	530,000
	常任理事会		0
	監事会(5、10月開催)	10,000×2名×2回	40,000
	諸委員会		
	楽譜複製・複写問題対策委員会		0
	広報委員会	10,000×延べ14名	140,000
	外部会議		0
	通信費 諸委員会		
	楽譜複製・複写問題対策委員会	10,000×3名×3回	90,000
	広報委員会	10,000×延べ28名	280,000
	懇親会費	総会後懇親会飲食費、事務局員手伝い謝金	10,000
諸費	コーヒー、お茶等	19,436	
	会議費 計	1,319,436	
事業費	CARS事業費分担分		240,000
	啓蒙活動費(文化芸術推進フォーラム事業関連他)		0
	CIAM/APMA関連費用(APMAホームページ管理費)		17,160
	事業費 計	257,160	
広報費	ホームページリニューアル費用		624,822
	広告掲載(MPA名簿)		55,000
	広報費 計	679,822	
交際費	慶弔費 祝金(会員催事祝い)	20,000×5回	100,000
	弔慰金・弔花・弔電・見舞い		16,500
	参加費 他団体懇親会参加費等		0
	議連関連パーティ参加費等	20,000×2回	40,000
	CRIC著作権研究会		27,100
折衝費	内外関係者との打合せ費用		17,453
	交際費 計	201,053	

2020年度支出実績内訳

(単位：円)

科目	内訳	実績
交通費	事務局交通費等	15,285
	交通費 計	15,285
通信費	郵便・宅急便等	40,320
	通信費 計	40,320
印刷費	封筒、名刺、年賀状等	44,540
	印刷費 計	44,540
雑件費	振込手数料等	5,365
	雑件費 計	5,365
消耗品費	文房具等(JASRAC 総務部に一括払い)	22,000
	消耗品費 計	22,000
諸団体加盟費	諸団体加盟費 C R I C 会費 C C D 会費 文化芸術推進フォーラム会費	300,000 0 100,000
	諸団体加盟費 計	400,000
図書費	書籍等購入費	0
	図書費 計	0
法人関係費	租税公課 法人住民税均等割 諸費 役員変更登記、各種証明書手数料	70,000 20,000
	法人関係費 計	90,000
	小計	3,074,981
次期繰越金	2020 年度支出残金	15,628,945
	繰越金 計	15,628,945
	合計	18,703,926

資料3

収 支 計 算 書

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

(単位:円)

科目 (収入)	金額	科目 (支出)	金額
前期繰越金	13,503,793	会議費	1,319,436
会費収入	5,200,000	事業費	257,160
助成金収入	0	広報費	679,822
雑収入	0	交際費	201,053
利息収入	133	交通費	15,285
		通信費	40,320
		印刷費	44,540
		雑件費	5,365
		消耗品費	22,000
		諸団体加盟費	400,000
		図書費	0
		法人関係費	90,000
		次期繰越金	15,628,945
合計	18,703,926	合計	18,703,926

資料4

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位:円)

借方(資産の部)		貸方(負債および資本の部)	
科目	金額	科目	金額
流動資産	15,628,945	流動負債	0
普通預金	15,628,945	正味財産	15,628,945
資産合計	15,628,945	負債および資本合計	15,628,945

財産目録

2021年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			
	科目	適用	金額
流動資産	銀行預金	普通預金(三菱UFJ銀行 代々木上原支店)	15,628,945
	流動資産合計		15,628,945
資産合計			15,628,945